

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-141	24-055	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
Gender differences in alcohol use disorder trends from 2009-2019: An intersectional analysis 2009-2019 年のアルコール使用障害の推移の性差		
執筆者		
Verplaetse TL, Carretta RF, Struble CA, Pittman B, Roberts W, Zakiniaez Y, Peltier MR, McKee SA.		
掲載誌		
Alcohol. 2025 Mar;123:101-107. doi: 10.1016/j.alcohol.2024.11.003. Epub 2024 Nov 22.		
キーワード	PMID	
アルコール使用障害 推移 性差 社会地理的因子	39579801	
要 旨		
<p>目的 : アルコール使用障害(AUD)の 2009-2019 年の推移の性差に及ぼす社会地理的特性を明らかにする</p> <p>方法 : 2009-2019 年の米国薬物使用と健康に関する調査(the National Survey on Drug Use and Health (NSDUH))のデータ(18 歳以上延べ 447228 人)において、ロジスティック回帰分析と線形推移分析を用いて AUD 推移の性差と社会地理的因子の交互作用を検討した。</p> <p>結果 : AUD の有病率は男女ともに減少していたが、減少率は男子が女性より大きかった(オッズ比 (OR):男性;0.96,女性;0.98)。女性の AUD の推移は人種、年齢、婚姻状況、就業状況、収入が関与していたが、教育や居住地の都市化は関与していなかった。18-49 歳(OR: 18-25 歳の男性;0.92,女性;0.96, 26-29 歳の男性;0.97,女性;0.99)、就業(OR:男性;0.96,女性;0.99)の女性は、男性と比較して AUD 減少が少なかった。さらに黒人(OR):男性;0.94,女性;1.00)、収入 2-5 万ドル(OR: 男性;0.96,女性;0.98)の女性は男性と比較して AUD 減少が少なかった。</p> <p>結論 : AUD の推移には性差があり、今回の検討で女性の AUD の減少が少ないリスク群の社会地理的因子が明らかになった。</p>		